

足跡日記

平成21年6月17日、大腸癌・ステージⅣと告知され、最初は中々受け入れられませんでしたが一ヶ月余りが経ち、やっと今、覚悟が出来た気がします。これからの自分の人生、何処まで運命を変えられるか、「我が最良の人生」として、足跡を残そうと思います。



[プロフィール](#)

[« 2009年10月 | トップページ | 2009年12月 »](#)

2010年7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



[カテゴリー](#)

- [1.日記・記録のみ\(その他\)](#)
- [2.医療・病気\(病院関連\)](#)
- [3.思い出\(出来事など\)](#)
- [5.株価分析情報\(終了\)](#)
- [6.趣味・マイブーム](#)



[最近の記事](#)

- [入院2日目](#)
- [入院初日](#)
- [徒然日\(入院準備\)](#)
- [滋賀医科大\(七夕祭り\)](#)
- [緩和ケア科受診](#)
- [徒然日\(友・達\)](#)
- [徒然日\(治療終了\)](#)
- [滋賀医科大](#)
- [完全休職](#)
- [徒然日](#)



[バックナンバー](#)

- [2010年7月](#)
- [2010年6月](#)
- [2010年5月](#)
- [2010年4月](#)
- [2010年3月](#)
- [2010年2月](#)
- [2010年1月](#)
- [2009年12月](#)

2009年11月

2009/11/30



第9回抗癌剤投与

天気・体調変化・副作用など

11/30(月) 晴れ、寒いです。

起床(5:50)

4時に目覚め6時起床、寒くて暗いです、今日は第9回目の投与日。



体調

体のダルサと指先感覚の鈍さはある、腹鳴と腹の張りもある、食事とトイレまでの時間が短くなっている

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩(6:10～)

日の出が遅くなりました、まだ暗いです。



第9回抗癌剤投与



冬場の早起きは辛いです、冬至はまだだけど6時過ぎでも暗いです。

←<6:18朝焼け>

予約11時、いつもは待たされるのに時間通りの診察です、研修医らしき2名がいてメモを取っている。

血液検査の結果、血小板数値が86と90以下となり、オキサリプラチン(エルブラッド)を20%減らしての投与になりました。(100mg→80mg)



「血小板数が9万を割ると、骨髄の問題があるからオキサリプラチンを20%減らします」とDrは言っていました。

血小板数の正常範囲は<162～329>で、前々回から115→96→86と減少しています。

その他、検査結果では肝機能関連の数値がますます悪くなってる様です。

巨大肝転移巣の壊死縮小も限界が近づいて、これからは強力に進化した癌細胞による攻撃・転移が始まるのかも知れません・・・



検査数値	(正常値)	前々回→前回→今回
白血球数	(3.3～8.1)	3.80→3.65→3.04
赤血球数	(4.3～5.3)	3.75→3.70→3.86
血小板数	(162～329)	115→96→86
GOT	(10～35)	46→57→65
GPT	(5～35)	24→32→33

2009年11月

2009年10月



写真集 (Lumix Club)

「狸の親子」写真集



「かわせみ」写真集



風景写真集 (壁紙可)



野鳥・風景集



カメラを持ってウォーキング、最近は散歩で見かけた野鳥や景色などを写しています。



ゲームランド

昔、出版したゲーム集です



足跡日記Ⅱ

足跡日記Ⅱ



携帯URL



携帯にURLを送る



ココログからのお知らせ

ログインシステムメンテナンスのお知らせ

ココログのアバターサービスが新登場しました



LDH	(130～250)	761→863→953
ALP	(100～330)	341→377→379
γ GTP	(10～75)	193→217→224
D-ダイマー	(2.0以下)	4.0→4.0→3.6
総ビリルビン	(0.1～1.0)	0.9→0.8→1.0

副作用では、「2週間経っても指先の痺れが残っている」旨を言うと、「グレイドワンだね、Grade 1？」の答え。

次回は腫瘍マーカーの検査あり。

11時半から点滴開始～14時終了。

帰宅着17:00

MYロ散歩 (17:00～)

就寝 (23:00～)

2009/11/30 [2.医療・病気 \(病院関連\)](#) | [固定リンク](#)



2009/11/27



「がん 生と死の謎に挑む」



天気・体調変化・副作用など

11/27 (金) 曇り、朝も寒くない。

起床 (8:00)

4時に目覚めてウトウト。

☘️体調 (投与11日目)

体調は良い、指先の痺れはないが感覚が鈍い (指先の皮が厚くなった様な感覚)。

左下腹の張りはある。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (8:15～)

ブログ編集 (午前～)

散歩 (11:45～13:00)

暖かいです、ドヨ～ンとした空気、春霞のようです、まさに小春日和。

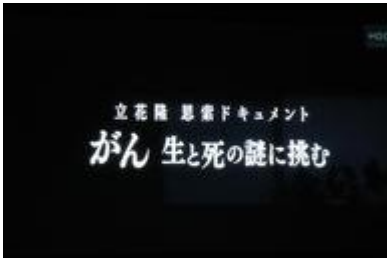
カメラを持って散歩に出るが、どうも「立花隆・ドキュメント」ショックが尾を引いて気落ちしている。

写真も撮れず。

MYロ散歩 (16:00～)

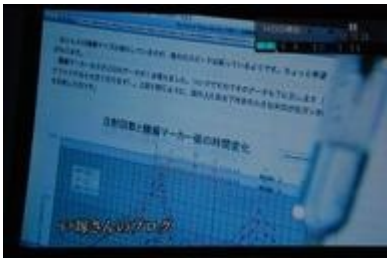
就寝 (22:00～)

☘️『立花隆・思索ドキュメント「がん 生と死の謎に挑む」NHK』



この番組を見て、かなりショックを受けた、抗癌剤を否定され癌には勝てない事が分かった。日本の癌医療は米国よりも数年は遅れている、恐らくこのビデオが最新情報だと思う。もし自分が癌になったら、米国の医者は大半は「抗癌剤」を拒否するとも聞いた事がある。抗癌剤を投与する事は、更に耐性を持った強力な癌細胞を育てる事になり、次の攻撃からは全身転移と副作用に苦しみ、死期を近づける事になる。

自分の「死」までの道程が見えた気がします。



立花氏は2年前に数個の多発性の膀胱癌を発病したが浸潤前で切除手術を行った。

2cmクラスの数個の多発性であり、再発の可能性は極めて高いらしい。

また、立花氏と20年来の交友があった戸塚氏の取材もありました。

彼は大腸癌で骨と脳に転移し、副作用で苦しみ、昨年7月に亡くなりました。

抗癌剤 (FOLFOX) 投与では17回目までは癌が縮小していたが効果が無くなり、次の抗癌剤

@niftyが提供する
無料ブログはココログ！

無料登録 ログイン

ブログ全体を検索
キーワードを入力 検索

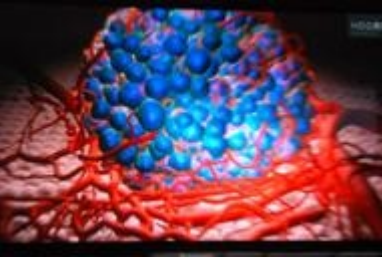


2005/05/25

(FOLFIRI)を投与した際は、副作用にが酷く、肺炎になり入院したそうです。

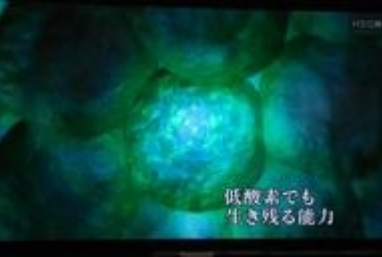
その後抗癌剤を5回も変更したそうですが、癌は縮小せず副作用は大きく残り苦しんだそうです。

第1章「がんとはいったい何か」



細胞分裂での遺伝子のコピーミスが「がん」であり、癌は無制限に永遠に増え続ける。

第2章「進化が生んだがん遺伝子」



癌が増殖する過程で血管を形成していくが、大きく増殖する事により「低酸素領域」が出来る。

癌細胞は、この低酸素でも「生き残る能力」を持ち、また脱出する能力「浸潤」を持ち、更に「移動する能力」、即ち転移する能力を持つ。

また癌細胞はその過程で自然淘汰され、放射線にも抗癌剤にも抵抗力がある強力な癌細胞に進化していく。

第3章「正常細胞の裏切り」



「マクロファージ」は、本来、侵入した菌などを殺す免疫であるが、この免疫細胞にとっては癌細胞と正常細胞との違いが分からず、傷口を修復するように癌細胞の浸潤を助け、転移を誘導している。

また、白血球細胞にも正常細胞が栄養を与えたり隠したり手助けをしている。

健全な強い免疫系を持っている人ほど、一旦癌が発生した後は、進行が早く転移するという事でしょうか。

「癌の進行は、お年よりは遅くて、若者は早い。癌になっても長生きしているお年寄りは沢山居る。」と云われているのも頷けます。

第4章「がんは生命そのもの」



全ての癌細胞は同じではなく、子孫を産む出す事が出来る「がん幹細胞」が存在する。増殖した子孫は抗癌剤で殺す事が出来るが、「がん幹細胞」は放射線や抗癌剤に対しての耐性を持ち、更に強力な抵抗力を持つ「がん幹細胞」に進化していく。

この「がん幹細胞」は正常な「幹細胞」と同じものであり、これを殺す事は出来ない。

IPS細胞は人工的に創り出された「幹細胞」であり、生産過程でIPS細胞も癌化する事がある。

第5章「がんはどう向き合うか」



死は日常の側にある、人の体は死が近づくと教えてくれる、適応していく能力がある。

人は死の寸前まで笑える、笑って死ぬことが最良の死であり、自然の死である。



立花氏は抗癌剤を否定し、数ヶ月の延命よりは人生のQOLを高める事が重要とは言っているが、時間が無い者にとっては、まずは延命しかないはず。

2009/11/27 2.医療・病気(病院関連) | 固定リンク



2009/11/26



豊公園



天気・体調変化・副作用など

11/26 (木) 晴れ、良い天気です。

起床 (6:15)

「立花隆・ドキュメント」ショックで熟睡できず。

☘️体調 (投与10日目)

体調は悪くは無い。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (6:30～)

ブログ編集 (午前～)

☘️午前の散歩 (10:30～



天気が良いのでカメラを持ってプチ散歩。
この間から、河原のアシに直ぐに隠れる、すばしっこい鳥が気になっていました。
最初は背面が「ホオジロ」と似ているので勘違いしていましたが、飛ぶ時に腹面の黄緑色がチラッと見え、写真に収めると「アオジ」でした。
動きが素早くて直ぐに葦藪に隠れるからシャッターチャンスが少ないです。

尾道市情報教育研究会「デジタル図鑑」参照

アオジ

色：雄の頭上と頬は緑灰色。嘴の基部や目先は黒味が強い。雌の眉斑と下面は淡黄緑色。

特徴：本州中部以北で繁殖し、山地や高原などにすむ留鳥。秋冬は暖地に移動し、市街地などの公園でも見かける事もある。

声：藪の中でツツ、ツツと鳴き、チョッピーチョッ、チチクイチリリなどと囀る。

☘️豊公園へ (12:00～16:30)



久しぶりに妻と娘と3人で長浜・豊公園へに出かけた、非常に暖かくて良い天気です。
途中で「たこやき」とか「惣菜」を買って公園で昼食。
娘も調子が良くなって来たみたいで、自分専用の弁当を食べ終わったら横になっています。
妻は、太ったからと公園の周囲をウォーキングに行き、私は、何か野鳥がいないかと探索に行き、意外と皆バラバラです。

元気な頃はマラソンの練習コースで豊公園まで往復していたし、その後もウォーキングコースで往復していたのが懐かしいです。

公園には「ヒヨドリ」、「カワラヒワ」がいて、特に「シジュウカラ」が結構多くて、汚い水路で水浴び等をしていました。

就寝 (22:00～)

「アオジ」、「シジュウカラ」、「カワラヒワ」







2009/11/23



がんフォーラム



天気・体調変化・副作用など

11/23 (月) 曇り、勤労感謝の日で休日、午後からは晴れ。

起床 (7:30)

🍀体調 (投与7日目)

倦怠感は減った、だが指先の痺れはある。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (8:00～)

🍀午前の散歩 (11:00～12:30)



カメラを持って、琵琶湖まで散歩。
途中、「ホオジロ」、「モズ」、「カワラヒワ」を見かけたが上手く撮れず。
琵琶湖岸でKちゃんに会った、年末のお話・雑談などして別れたが何故か小走り。

🍀がんフォーラム (14:00～16:30)



市立病院主催の『よくわかる大腸がん』講演を妻と一緒に聴きに行った。
初めてであるが、今後、世話になる可能性があるかとも思い行ってみた。

5名の講師による各講演を各20分程度行っていた、参加数はざっと150名ぐらいかなあ？
私の斜め前の席の60代らしき男性は全講演を録音しメモも取っていた、4列横にはY野医師
達3名が座っている。
半数以上はお年寄りで患者・家族らしき、残りは医療関係者でしょう。



- 1.「増え続ける大腸がん ～予防法は？早期にみつけるには～」
- 2.「大腸がんの診断と治療 ～内視鏡でがんを治す～」
- 3.「大腸がんの手術 ～小さな傷で楽な手術～」
- 4.「正しく知りましょう ～人工肛門についてあれこれ～」
- 5.「こころのケア ～がんと上手につきあうために～」

やはり治療可能なステージ0～3の講演が主で、ステージ4の私に当てはまるのは『5.』だけでした。

『5.』の講師である緩和ケア科部長・黒丸先生のプロフィールに
『・・・また様々な代替医療を通して、がん患者の「心の治癒力」をうまく引き出すという試みに強い関心を持っている。』
とある。

講演内容も、「どうやったら楽しく暮らせるか」、「うれしいこと」、「気分良く」がテーマでした。

いくつかの体験談をされましたが、その一つです。

『今の市立病院に来る前の事で、

ある患者さんに3cmのがんが見つかったが、患者さんから「もし治療しなければどのくらい生きられるのか？」という質問に「3年でしよう」と答えたらしい。

その患者さんは「では、治療はいらない、後3年も生きられれば充分です！」と言われたそうです。



その後、私を探してく3年後に当病院に来院されました、話を聞けば、この3年間20数カ国を旅して来たそうです。

治療は行っていないが定期的な検査はしており、経過を見れば放置していたがんも当初の3cmままでした。

その後、緩和ケアに入院されましたが、がんが進行し黄疸になり1ヶ月後ぐらいに亡くなられました。』

「楽しく暮らす事」が自然治癒力、免疫力を高めるだろうし、「アガリクス・プロポリス…」などの民間療法も効果の証明はないが、それを飲むことで安心するなら否定はしない、と云う事でした。

「心の治癒力」！、期待したいが、結局死んでしまう・・・

MYロ散歩 (17:00～)

就寝 (23:00～)

「モズ」、「カワラヒワ」、「ホオジロ」



2009/11/23 2.医療・病気 (病院関連) | 固定リンク



2009/11/20



ジョウビタキ



天気・体調変化・副作用など

11/20 (金) 朝は晴れ、それ程寒くない、昼から曇り空に。

起床 (8:00)

夢を見た、「バイク (黒の大型) を買って恐々乗ってる夢、加速で体がバイクに持っていかれる感覚が残ってます。」

普段使わない「電気毛布」と「重い毛布」のせいでしょう。

バイクの免許は持ってませんが、あの加速感は気持ち良いです。

🍀体調 (投与4日目)

体のダルサと指先の痺れはまだある。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (8:30～)

朝、散歩中に「カワセミ」を見た、この間の雨から、とんと見かけなかった。

🍀午前の散歩 (11:00～12:00)



朝、「カワセミ」を見たのでカメラを持って散歩へ出かけるが、空は曇ってきた。
指先がまだ痺れるので手袋を2枚重ねて出かける、少しはマシのようです。
結局、「カワセミ」には会えず帰宅するが、家の庭に「ジョウビタキ (オス)」がいた。
「ジョウビタキ」は、雌雄異型でオスとメスでは全く違い、別の種類に見えます。
←オスです。



←メスです。
以下「Yahoo!百科事典」参照
オスは顔から羽までが黒く白い斑点が特徴で、メスは黄褐色。
雌雄ともに翼に白い斑紋があるので「紋付鳥 (もんつきどり)」とも呼ばれる事がある。
冬の初めに日本に飛来し、明るい林の樹洞などに巣をつくり、5～7個の卵を産む。
明るい林や公園などにすみ、1羽ずつ縄張りを持ち、ヒッヒッとよくとおる声で鳴き、また低い木の枝に胸を張って止まり、尾を振って頭を下げる独特の動作をする。昆虫食。

MYロ散歩 (17:00～)

就寝 (23:00～)

「ジョウビタキ (オス)」





2009/11/20 6.趣味・マイブーム | [固定リンク](#)



2009/11/16



第8回抗癌剤投与&CT造影剤検査(3回目) 結果



天気・体調変化・副作用など

11/16 (月) 曇り。

起床 (6:00)

携帯アラームで飛び起きる、通勤を思い出す。

🍀体調

寝不足だが気分は良い。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (6:20～)

🍀今日は8回目の投与と11/9のCT検査結果。



病院には9時半着、直ぐに採血するが人が多い、随分並んでいる。
診察は11時予約だが1時間待たされ12時から診察、来週の月曜日が休日なので混んではと
か。
血液検査の結果、今回もDダイマーが4.0 (前回も4.0) で高く「アバスチン」はなしで投与する。
その他の数値も全て悪くなっている、CT検査結果は良好だとの説明だが、副作用のせい
か、そろそろ体の基本機能が限界かも。

血液検査の数値が悪くなっているとは云え、以下の数値をみても元々正常値から大きく逸脱した数値なので、少々の変化も影響ないかも知れません。

検査数値	(正常値)	前回→今回
白血球数	(3.3～8.1)	3.80→3.65
赤血球数	(4.3～5.3)	3.75→3.70
血小板数	(162～329)	115→96
GOT	(10～35)	46→57



GPT (5～35) 24→32
LDH (130～250) 761→863



ALP (100～330) 341→377
γ GTP (10～75) 193→217
腫瘍値CEA (5.0以下) 89.6→105.4
D-ダイマー (2.0以下) 4.0→4.0

点滴は12時半～15時半の3時間で終了。

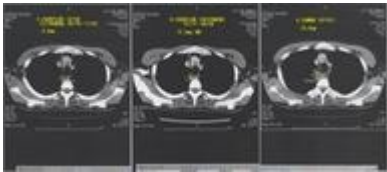
第3回目造影剤CT検査結果

今回は第1回目の検査結果 (治療前7/1) との比較で、結論的には良好である。

肺転移巣の所見及び検査結果。



←右肺転移巣 (右上縦隔結節) は明らかに縮小し、リンパ節・その他肺転移は見られないという所見でした。Good !



←写真は「A.治療前 (7/1検査)」と「B.抗癌剤を3回投与した (9/9検査)」と「C.今回7回投与後」とを並べて比較したものです。

第1回目 (7/1) は25.5mmと第2回目 (9/9) 12.3mmでは48%に縮小し (第2回目の数値は目視)、第2回目と今回6.4mmでは更に52%に縮小しています、当初からだ25%の縮小となり、

嬉しい事に四分の一になりました。

このまま消滅すれば良いのだが、どこかで限界がくるのでしょう。

後、所見に「軽度の間質性変化あり」と書かれていたので、Drに聞くと「抗癌剤などで間質が固くなる事があるが、今は特に問題はない、もし咳が良く出るようなら言って下さい。」との事でした。

<調べてみました！>

肺の間質というのは、肺を構成する肺胞 (肺実質) の周りの壁の部分の間質と呼び、毛細血管が網の目のようにはりめぐらされていて、ここから酸素が吸収されるそうです。

これが炎症を起こす原因には、カビ、粉、金属粉、石綿や抗癌剤、抗生物質があるそうです。

多発肝転移巣の所見及び検査結果。



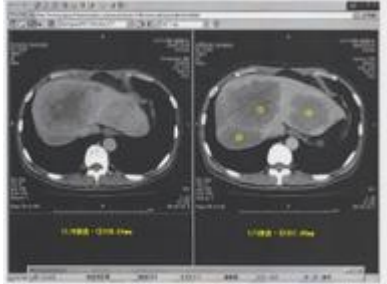
←所見では「多発肝転移も若干縮小しています。」と有ります。
肝臓には転移した10cmクラスの巨大がんが3個 (①～③) あり、その他数センチが数個あります。

治療前 (7/1) 検査と今回 (11/09)を比較するとサイズのには本当に僅かしか縮小していませんが、転移巣の中心部が黒く斑に変化しており、癌細胞が壊死して正常な肝細胞に入れ替わってる状態だそうです。

「元々大きいので癌細胞が壊死して正常な肝細胞に変わるのには時間がかかる」

と云うDrの説明でした。

①肝転移巣

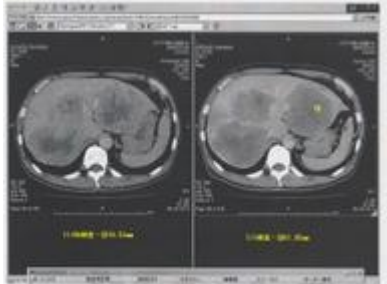


←写真の右は「治療前 (7/1検査)」で左が「今回7回投与後」です。

治療前 (7/1) ①は107.49mmで今回は100.64mmで、94%に縮小、僅かです。

中心部が黒くなって、輪郭が薄くなっています、恐らく良い方向なんでしょう。

③肝転移巣



治療前 (7/1) ③は91.65mmで今回は76.52mmで、84%に縮小、少し小さくなった。

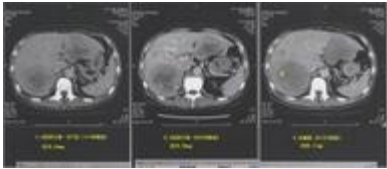
①同様、良い方向なんでしょう。

癌細胞は放置すればドンドン増殖する事を考えれば、同サイズや僅かでも縮小している事は抗癌剤の効力があり、まだ治療が続けられると云う事でしょう。

②肝転移巣 (初期・前回・今回との比較では残念ながら限界に近いかも?)

治療前と今回を比較すれば良い結果に見えますが、前回とも比較すると、余り良好とも云えないかも知れません。

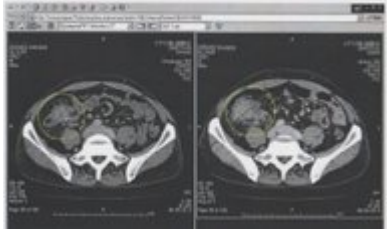
前回 (9/9) と今回を比較してみると、ほとんど変化していないように見えます。



A.治療前90mm、B.79mm、C.78mmと、前回と比較するとほとんど変わっていません。

壊死状態が良くなっているかは分かりませんが、血液検査での肝機能数値を見れば、やはり否定的です。Sad! 

◆上行結腸原発巣(回盲部)の所見及び検査結果。



Drは「大腸などの管腔臓器は、客観性がないのでCTでは評価しない」とは言ってましたが、今回、初めて上行結腸原発巣の所見ができました。

所見では、「原発腫瘍もその周りのリンパ節もわずかではあるが縮小している」とあり、不安が拭われました。

治療前(7/1)は47.02mmで今回は26.78mmで、57%に縮小し、随分小さくなったと思います。

しかし、所見では「わずかに縮小」とあり、ひょっとして見方が違うのかも知れません。

最近、下腹の張りがあり心配していましたが、どうも違う原因で張ってるみたいです。

◆ 新型インフルエンザワクチンの「優先接種対象者証明書」を発行してもらいました。



ワクチンを接種した方が良いのかDrに聞いてみましたが、

「受けてる患者さんは多いよ、体調を崩す人もいるが健康な人も崩す場合があるから…」

「抗癌剤投与後10日後以降が良い、白血球も3600あれば問題ない…」

「子供が良かかっていて重篤化するが、我々年寄は免疫があって余りかからないと言われているよ…」

とのお話しでした。

(ようワカラン！)

ワクチン接種するか？迷ってます！

もう何十年も予防接種はした事がなく、インフルエンザにかかって発熱しても「カイゲン」飲んで3日寝てれば治ってました。

但し今回の新型では、肺にも感染し、すごいスピードでウィルスが肺で増殖し炎症を起こし

肺炎・呼吸困難になるらしいです。

今、もし、感染すれば、体力も衰え、免疫力も低下し、肺の状態も悪く、抗体も無しと考えると恐怖ですが、弱毒性だし発熱してから「タミフル」を服用すれば良いかも、とも考えます。

MY口散歩 (18:30～)

疲れているが、体調も気分もいい、点滴ポンプが邪魔ですが。

就寝 (24:00～)

2009/11/16 [2.医療・病気\(病院関連\)](#) | [固定リンク](#)



2009/11/10



カワセミの食事

天気・体調変化・副作用など

11/10 (火) 朝は晴れ、午後から曇り、夕方雨。

起床 (7:00)

良く寝た。

 体調

昨日から下腹の痛みは無くなったが、相変わらず張りはある。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MY散歩 (7:15~)

🍀 午前の散歩 (10:45～12:15)

午後から天気が悪くなりそうなので、急いでカメラを持って散歩へ。

←「カワセミ」が1羽いました、ダイブして小魚を食べています。



魚などを飲み込んだ後は、骨や鱗はペリットとして一塊として吐き出しますが、今回初めて見ました。
←写真は大きく口を開けて吐き出した所ですが、ペリットは残念ながら写っていません。



←休んでいる時には白い液状の糞を尻尾を少し上げ排出します、写真の白い筋線がカワセミの糞です。
カワセミが飛び去ったので琵琶湖岸へ向かう。

ブログ編集 (午後～)

MYロ散歩 (17:00～)

雨の中、合羽を着せて散歩です。

就寝 (23:00～)

↓「糞」動画です！



2009/11/10 [6.趣味・マイブーム](#) | [固定リンク](#)



2009/11/07



学園祭・エナガ



天気・体調変化・副作用など

11/7 (土) 晴れ、良い天気です、暖かいです。

起床 (8:30)

起きれない、朝から体がだるい。

🍀体調 (7回目投与5日後)

暖かいからか、指先の痺れはすくない。

体の倦怠感はある。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (9:00～)

🍀お出かけ (12:00～15:30)



良い天気です、カメラを持って妻とMYロでお出かけです。
醒ヶ井へ行って「シャトル切符」を購入し、その後、県立大の学園祭「湖風祭」へ。

この「湖風祭」は毎年、雨にたたられていましたが、今年は天気恵まれました。
キャンパスの木は「エナガ」だらけ、十数羽が目まぐるしく枝から枝へと動き回っています。
人なつっこい鳥らしく近づいても逃げませんが、兎に角良く動き回り撮るのが楽しい鳥です。



妻がフリーマーケットで色々と衣類を物色した後、ベビーカーを見つけて500円を200円に値切って購入。
安い、只同然です、「エコノミー&エコロジー」な良いシステムです。
その後、買い物が終わわり、出店で「うどん」を食べましたが、1杯200円です、すごく高く感じられます。



MYロ散歩 (17:30～)
夕方暖かい、立冬とも思えない。

就寝 (22:00～)

「徒然野鳥記」参照
エナガ: 日本に生息する野鳥の中でも、最も愛くるしい姿、形、色彩、動作を示す、スズメよりずっと小さく見える留鳥です。尾を含めた大きさが14cm、そのうち尾の部分が7, 8cmはありますので、どれくらい小さいかお分かりになることと思います。この長い尾を柄杓(ひしゃく)の柄(え)に見立ててこの名前が付いたようです(別名「えびしゃく」、「をながひしゃく」、または「えながどり」とも呼ばれたようです)。体重8グラム程度といわれている、雌雄同色の野鳥で、身体全体が丸く、フワフワとした羽毛に包まれ、まるで白と黒の混ざり合ったマシュマロのようです。広くユーラシア大陸から日本列島に分布します。しかしどうも北海道では観察されていないようです(北海道にはよくにいていますが、眉線のない、顔が真っ白な「シマエナガ」が生息しています)。繁殖期の春先から夏以外には、数羽から数十羽の群れを作り集団で動き回ります。時として、他の野鳥、メジロ、シジュウカラ、コゲラ、ヤマガラなどとも混成の群れを作ります。動きが素早いため、見落とされることが多いのですが、樹木の多い都市部の公園などでも見かけることができます。樹上にいて、一箇所にほとんどとどまることなく動き回ります。撮影者泣かせの野鳥ナンバーワンのグループに属するともいえるでしょう。

「エナガ」です、虫を食べてますね～。





2009/11/06



徒然日 (投与4日目)

天気・体調変化・副作用など

11/6 (金) 晴れ。
起床 (8:00)
朝、起きれなくなった。

🍀体調

体の倦怠感は少しある、指先の痺れもあるが酷くは無い。
昨日から下痢が続いているので酸化Mgを減らすつもり、便秘よりは良い。
左下腹 (膀胱の横) の圧迫感は相変わらずあり、突っ張った感じで少し痛みもある。
もう1ヶ月ぐらい続いているが、何なのでしょう？
3日後のCT検査で原因が分かれば良いのだが・・・

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (8:15～)
ブログ編集 (午前～)

🍀いつもの散歩 (11:15～13:00)



良い天気です、暖かいです、カメラを持って今日も散歩です。
いつもの場所で、いつもの？カワセミを1羽発見！、今日は黙々と食事をしています。
1羽の時は警戒して近づくと直ぐに逃げてしまいます、何回もダイブして捕獲しているみたいですが、遠くて確認出来ず、写真写りも悪くなりそうです。
2羽の時は周りが目に入らない様で、かなり接近しても中々逃げませんし、逆に近づいて来る時もあります。
下嘴が赤っぽいので恐らくメスだと思いますが確認出来ず、飛び去りました。

帰りにもう一度川岸で待ってみましたが、1羽が川面スレスレで目の前を横切って行って、それっきりです。

買い物 (15:00～)
一人でバナナと菓子パンを買いに。
最近、甘い物が欲しくなり「こしあんぱん」、「クリームぱん」、「アップルデニッシュ」などを良く食べています。



MYロ散歩 (16:00～)
娘と一緒に散歩、まだ暖かい。

就寝 (23:00～)

2009/11/06 [6.趣味・マイブーム](#) | [固定リンク](#)



2009/11/05



翡翠 (投与3日目)



天気・体調変化・副作用など

11/5 (木) 曇り、時々晴れ、日向は暖かい。

起床 (7:45)

夜中のトイレ回数が多く熟睡できず、朝方は良く寝られる。

🍀体調

食欲がなく少しムカツキがある、舌がざらついた感じがあり味覚が鈍感。

指先の痺れはまだある、冷蔵庫の冷たい物に触ると「ビリビリ」する。

体のダルサはあるが、大した事はない。

前々回は便秘で、前回は下痢で、今回は普通に近い、酸化Mgの服用量はほとんど変わらないのに何故でしょう。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (8:00～)

🍀いつもの散歩 (11:45～13:30)



陽が出てきたのでカメラを持って散歩、日向を歩くと暖かくマフラーが要らないぐらい。
妻とMYロも琵琶湖岸で合流、その後一人で川岸を帰るが、またまた、2羽の「カワセミ」を発見！
この間写真に撮ったのと恐らく同じです、近くに巣があるのかも？！

見ていると、どうもオスが執拗にナンパして、メスは「しつこいわね～」と威嚇してる様にも見えます。



オスは、時々まダイブしていますが、小魚を捕るマネだけのパフォーマンスに思えてしょうがないです。
春の繁殖期であれば、オスが小魚を捕獲しメスに与え、メスがそれを食べればメデタク結ばれるらしいですが・・・

曇り日です、もう少し太陽が出てくれれば綺麗に撮れるのに残念。
40分粘りましたが、カメラが重い、手が痺れてきたし、230枚撮ってSDも一杯になり

GiveUp！、撤退です！

また次の機会に期待・・・ (でも場所も時間も前回と今回良く似ている、チャンス有り)

MYロ散歩 (16:45～)

就寝 (23:00～)

🍀「カワセミ」、別名「翡翠 (ひすい)」良いネーミングですね。(左で威嚇？してるのがメス)

2009/11/05 [6.趣味・マイブーム](#) | [固定リンク](#)







2009/11/04



ビワマス (投与2日目・針抜)

天気・体調変化・副作用など

11/4 (水) 晴れ、少し寒いが良い天気です、昼からは暖かい。

起床 (8:30)

昨日寝不足だったので、昨夜は良く寝られた。

体調

体調は良さそう、腹の痛みは感じられない、でも指先の痺れはある。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (9:00～)



遅い散歩だが、川に2尾のビワマスを発見、産卵の為に生まれ故郷に戻ってきたらしい。小さいのがメスで大きいのがオスのようです、産卵が終わると死んじゃうんだよね～。

ヘパリンロック・針抜 (12:40～)

7回目となると、慣れすぎて妻は忘れていました。

でも、問題なく終了。



散歩 (13:15～)

点滴ポンプをはずしての散歩は、やはり楽です。

MYロ散歩 (15:30～16:15)

娘と一緒に散歩、日陰は寒いが日向は暖かい。

娘も調子が悪く、最近良く一緒に散歩している。

就寝 (22:00～)

「ビワマス」の検索抜粋↓

餌は、主にイサザ、スジエビ、アユを補食している。

他のサケ科魚類と同様に母川回帰本能を持つため、成魚は10月中旬-11月下旬に琵琶湖北部を中心とする生まれた川に遡上し産卵を行う、産卵が終わると親魚は寿命を終える。

産卵期が近づくと、オス・メスともに婚姻色である赤や緑の雲状紋が発現し、餌を取らなくなる。

オスは特に婚姻色が強く現れ、上下の両顎が口の内側へ曲がる「鼻曲がり」を起こす。メスは体色がやや黒ずむ。

2009/11/04 [6.趣味・マイブーム](#) | [固定リンク](#)



2009/11/03



休息日 (投与1日目・イリノテカン)



天気・体調変化・副作用など

11/3 (火) 小雨、昨夜は台風のような風が一晩中吹いていた、寒いです12月上旬の気温らしい。

起床 (7:30)

昨夜は抗癌剤と強風で寝られなかった、4時過ぎに寝ついた。

体調

寝不足だが、気分は悪くない。

エルブラッド (オキサリプラチン) の蓄積副作用である末端神経症状が出ている。

特に指先が痺れている、寒さや冷たいものに触ったりするとひどくなる、丁度、寝相が悪くて目覚めると指先が痺れている事があるが、これに似た痺れが続く、暖めると治るし、また2～3日でなくなる筈である。

後は、またシャッキリが出ているが、これは大した事はない。

副作用か分からないが胃周辺や右腹に時々「ピキィー」という痛みが走る、腹鳴は相変わらずうるさい。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (8:00～)

手袋をしていても指先が痺れるし、雨に降られるし直ぐに帰宅。

今日は体調悪いし、寒いし、やっとコタツも出たし休息日です。

ブログ編集 (午前中～)

ここ一週間ほどブログをアップしていない (友人が心配していたらしい)。



書いていて、今後もブログを続けるなら目的や内容やテーマなどスタイルの変更が必要ではないか？と考えているうちに一週間が過ぎてしまった。

取り分けアップします。

午後の散歩 (14:30～)

寒いです、風が冷たいです、でも「タンポポ」が咲いていました。

ポンプを下げて30分程の散歩ですが、指先が痛い。

これからが思いやられる・・・

MYロ散歩 (16:45～)

就寝 (23:00～)

昨日、Drに次の治療を尋ねたら「イリノテカン」があると云う事だったので、調べてみた。

わが国で開発された「植物アルカロイド」を使ったイリノテカン。
別名を喜樹とも言うその木の根から、アルカロイド成分であるカンプトテシンが発見されました。これを化学的に合成したものが、抗がん剤のイリノテカンです。

1998年には、5-FUが無効となった大腸がんの二次治療として無治療群とイリノテカン群とを比較した結果、生存期間が無治療群6.5カ月に対し、イリノテカン群9.2カ月と、明らかな延長が示されました。また、QOLにおいてもイリノテカン群の方が優れているという結果でした (Lancet 1998;352:1413-1418.)。この結果から、イリノテカンはまず、大腸がんの二次治療における標準治療薬として、その地位を確立しました。

2000年、米国から5-FU急速静注+LV療法と、これにイリノテカンを上乗せするIFL療法とを比較した大規模な臨床試験結果が出されました。生存期間はIFL療法が14.8カ月と、5-FU+LV療法の12.6カ月よりも2カ月以上延長しており、また奏効率もIFL療法39%に対し、5-FU+LV療法21%と、大きな差がつかしました (Engl J Med 2000;343:905-914.)。

同じ年に、欧州からは5-FU持続静注+LV療法と、これにイリノテカンを上乗せするFOLFIRI療法を比較した大規模な臨床試験の結果が発表されました (Lancet 2000;355:1041-1047.)。こちらも、生存期間がFOLFIRI療法17.4カ月に対し、5-FU+LV療法では14.1カ月にとどまったほか、奏効率もFOLFIRI療法49%に対し、5-FU+LV療法31%と、明らかな差がつかしました。こうしてイリノテカンは、大腸がんに対して最初に行う化学療法 (一次治療) で用いる薬剤であるとのエビデンスが広く受け入れられるようになったのです。

その後、IFL療法はFOLFIRI療法のような持続静注法と比べ、骨髄抑制や下痢などの副作用が出やすいことが明らかになり、慎重な経過観察や適宜減量などの調整が必要なことから、あまり広くは行われなくなってきました。**現在、イリノテカンは単剤か、FOLFIRI療法で使用するのが一般的です。また、二次治療や三次治療として、他の治療法に上乗せして使用されることもあるようです。**

なお、世界的なイリノテカンの用法用量は180mg/m2ですが、わが国の承認用法用量は150mg/m2となっています。

最近、イリノテカンの白血球減少が強く起こるかどうかを予測する遺伝子検査法が保険適用となり、検査キットが発売されました。この副作用は、薬の量によって危険性が増加する傾向があることが、既に明らかになっています。肝障害があったり高齢者であるなど、白血球減少が強く出現すると重症化する危険性の高い人に対して検査を行うことで、より安全にイリノテカンが使用できるようになるのではないかと期待されています。

2009/11/03 [2.医療・病気 \(病院関連\)](#) | [固定リンク](#)



2009/11/02



第7回抗癌剤投与



天気・体調変化・副作用など

11/2 (月) 晴れ、朝方は少し寒いです。

午後からは大阪も寒くなって風と時雨れです、夕方に京都辺りで虹が出現していました。

起床 (6:00)

5時に目覚め、6時起き。

🍀体調

体調は良い方だと思う、チョット寝不足ですが。

今日は7回目の投与です、どうも投与前日は緊張するのか寝られません。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロの散歩 (6:25～)



←日の出が遅くなりました、6時29分の朝焼けです。

☘今日は第7回目の抗癌剤投与です。

病院着 (9:25)

採血・検尿 (9:30～)

💎診察 (11:15～)

血液検査結果で、白血球数は3.19→3.80で3.0以上をクリアしましたが、やっぱりDダイマーが3.7→4.0と3.0以下にはならず今回もアバスチン抜きでの投与です。
Dダイマー値が高いという事は、全身に血栓が出来ていて浮腫みがあったり、脳梗塞・心筋梗塞のリスクがあるという事で、ここにアバスチンを投与すれば更に「血栓症」を引き起こし脳梗塞・心筋梗塞になる為、Dダイマー3.0以下ルールがあるそうです。
その他、肝機能の数値などを見ても、前回と余り変化はありませんでした。

Drの触診で左右下腹の圧迫感・違和感を訴えましたが、問題は無いだろうという事らしいです (ハッキリせん)
また、今のFOLFOX投与期間は8ヶ月ぐらいが標準 (今で4ヶ月目) という事だったので、その次の治療を尋ねると「イリノテカンを使います」という返事でした。(後日、調べてみます)

来週の月曜日 (11/9) は第2回目のCT撮影です、前回は2ヶ月前の (9/9) で結果は極めて良好、体調も良かったのですが、今回はちょっと不安です……

Drは「この結果を見て説明できるだろう」と言っていました。

💎FOLFOX点滴 (12:15～14:50)



今回は椅子ではなくベッドでの点滴にしました (寝不足なので寝れるかも？と考え)。
点滴中、看護婦にこの抗癌剤の投与期間を聞いてみた。
「最長回数では30数回ぐらい」という返事です、途中休憩もあるので1年半～2年ぐらいでしょうか。
「標準的には12・3回ぐらい」という答えです、これはDrの8ヶ月と一致します。
「何故12・3回なのか」と聞いてみると、
「副作用が酷くなって続けられなくなるのと、アレルギーが発症して中断する場合があります」と

いうお答えでした。

余談だが、看護婦がテーブルのデジカメを見て、「私もデジカメか一眼レフを買おうと思ってる」と言い出し、しばし写真のお話し……

「戦友妻」を読み終えて、田中和夫氏は卓越した人物で人としての優れた資質と恵まれた宿命を持った方だという印象です。
私には到底真似は出来ませんが、命ある限り「小さな幸せ」を創り続けていきます……

病院出 (15:10～)、帰宅 (17:30)

マイロ散歩 (18:00～)

就寝 (23:00～)

2009/11/02 [2.医療・病気 \(病院関連\)](#) | [固定リンク](#)



2009/11/01



徒然日 (アポトーシス)



天気・体調変化・副作用など

11/1 (日) 曇り、午後からは雨らしい、暖かいです。。

起床 (7:00)

目覚めは良い。

☘体調

体調は良い、明日は7回目の投与です。

今日のLifeWorkと出来事、つぶやき。

MYロ散歩 (7:15～)

ブログ編集 (午前～)

8時から自治会の溝掃除です、妻は物産展にお手伝いに行って結局不参加です。

午前の散歩 (10:00～10:30)

暖かいです、本当に明日から寒くなるのか？

MYロ散歩 (16:30～)

雨の中カッパ着て散歩です。

就寝 (22:00～)

 アポトーシス

金木犀も終わりです、あれだけ強烈な香りを放っていた小さな無数の花は、庭に散っています。

今は、庭の只のゴミになってしまっています、毎年見るいつもの自然の光景です。



生き物には寿命があり花にも寿命があり各細胞にも寿命があります、このプログラムされた細胞死 (アポトーシス) により、その固体の生命を最良に維持し続けるのは自然だけど、凄い事です。

「がん」はこの自然の掟を冒し無限に増殖する非自然的な自分の分身です、放っておけばドンドン増殖し栄養補給の為の新たな血管をも増設し、またリンパや血液を通して転移し拠点を増やす悪たれ反逆児です。

我が免疫よ！目覚めよ！、この侵略をくい止めろ！、この反逆児に死を！

「免疫細胞療法」に期待したい、もし間に合えば・・・

